

緑字生ズ

山田 創刊号はまたたくうちに消えてしまった。発行部数自体が僅かなのだから当然のこととはいえ、それでも手元から失われていくのは物悲しい気がする。これは何に対する執着なのだろう。生まれ落つ以上はそのものの勝手なりということはわきままえてあるつもりであつても、散佚を畏るべしとの思いも絶ちがたく、時をずらしながら読者のお目につけようとしたのだが、雑誌とは所詮、一瞬の時に啖わるるものなのか。

識語

書店に置くほどの余裕も気持ちもなかったのだが、少しく部数を増やして、いささか流通させてみることにした。これも読者の強い支持に励まされたもので、改めて御礼を申す次第。創刊号とところで、本造りというのには妙なもので、充足することなどこれっぽちもない。それを技芸の魔とでもいうのか、面白みでもあり辛さでもある。本号では少々体裁などを変えてみたが、あと一、二号もすればこの形は熟すであろう。けれども、頭の中ではもうすでに、小誌のスタイルが落ち着き次第、まったき別箇の造本に着手しようとして決めている。中身だつてどうなるか分からない。こちらの方面でも諸賢の協力を仰ぎ奉る。

直江屋主人

次号製作の資に充てるため、左の二点をご希望の方にお頒けいたします。ご協力ください。在庫僅少のため、申込順に発送いたします。

\*「地獄第七界に君臨する大王は地上に顕現し人体宇宙の中枢に大洪水を齎すであろうか(略称フネ)」創刊号(鹿刊号全三号揃(昭和五十年九月)昭和五十一年四月刊、頒価各五百円)  
執筆者 天沢退二郎/入沢康夫/金石稔/山口哲夫/帷子耀/青木はるみ/他  
今回頒価 三号揃 千五百円



天書に記す所は、  
山田の書に記す所は、  
山田の書に記す所は、  
山田の書に記す所は、  
山田の書に記す所は、

山田の書に記す所は、  
山田の書に記す所は、  
山田の書に記す所は、  
山田の書に記す所は、  
山田の書に記す所は、

緑字生ズ 第二号\*昭和五十八年十二月三十一日発行\*定価 千五百円\*編集発行人 紙田彰\*発行所 東京都江戸川区西葛西五、八、七、九〇六 直江屋\*振替 東京一、四〇一五七\*電話 〇三(六八六)五九一五\*印刷所 共信印刷

\*紙田彰第一詩集「浣腸遊び」(昭和四十九年十月刊、定価千三百円)



今回頒価 千三百円  
(二点とも、送料は当方負担)